

2026 年 10 月 6 日

各 位

第 44 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会実行委員会

委員長 大後 栄治

第 44 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会
出場チーム数の変更および次回大会出場枠の取扱いについて（お知らせ）

拝啓 秋冷の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本大会の開催にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記大会の出場チーム数につきまして、下記のとおり 1 チームを追加し、27 チームで実施することといたしました。あわせて、本措置に伴う次回（第 45 回）大会の出場枠の取扱いを定めましたので、お知らせいたします。

大会要項に定めた選考方法の特例となる対応ですが、下記の事情をご賢察のうえ、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1 変更の内容

項目	変更前（大会要項）	変更後
5000m 6 名の記録による選出	2 チーム	3 チーム
総出場数（オープン参加の東北学連選抜 1 チームを含む）	26 チーム	27 チーム
うち関東地区からの出場チーム数	10 チーム	11 チーム

追加となるチーム：拓殖大学

2 経緯

(1) 大会要項では、5000m 6 名の記録による選出について、2026 年 4 月 1 日から 10 月 4 日までに出した「電気計時」の公認記録のみを有効と定めております。

対象記録を電気計時に限定している趣旨は、①特に 6 名の記録を合算して比較する場合は、手動計時の誤差が大きくなり正確な比較・判定が困難となりうること、及び、②近年は大学主催の競技会を含めてほとんどの競技会が電気計時となっており、出場資格を得るための挑戦の機会を不当に制限することにはならないことを踏まえたものです。

(2) 今回の対象期間の最終日である本年 10 月 4 日に東海大学の主催で開催された第 251 回東海大学長距離競技会は、電気計時での実施が予定されていたものの、競技開始前に電気計時システムが故障して復旧に至らず、全レースが手動計時に切り替えられたとのことです。

(3) このため、同競技会に出場した競技者の記録は手動計時の扱いとなりました。手動計時と

なった記録は十分の一秒単位の表記ですが、同競技会に出場した拓殖大学の該当競技者（1名）の記録（手動計時）の百分の一秒の位を「0」と仮定して同大学の5000m 6名の合計記録を算出すると1時間41分06秒29となり、電気計時の記録により2番目に選出された東京農業大学の合計記録1時間41分26秒59を約20秒上回っております。手動計時において想定される誤差の範囲を大きく上回っておりますので、仮に当該競技会が予定どおり電気計時で実施されていれば、選出の対象となるものだったと考えられます。

- (4) 計時方法の変更は競技会主催者側の機器故障によるもので、選手、大学、その他の関係者に落ち度はありません。また、対象期間の最終日の事象であったことから、改めて別の競技会に出場して挑戦することもできない状況にありました。

一方で、大会要項どおりの基準に基づき選出された東京農業大学に、出場資格が認められるべきことは言うまでもありません。

そこで、上記の具体的な経緯と、電気計時に限定している大会要項の前記趣旨を踏まえて、実行委員会および関係団体で協議した結果、交通規制等でご支援をいただいている宮城県警察からのご了解を頂いたうえで、拓殖大学の出場を認めることといたしました。

ご理解を賜りました関係団体及び宮城県警察に、深く御礼申し上げます。

3 本措置の取扱い

- (1) 本措置は、第44回大会に限る特例です。電気計時の公認記録のみを有効とする大会要項の基準そのものを変更するものではありません。
- (2) 大会要項に基づき電気計時の記録により選出した2チームをはじめ、すでに出場が決定している各チームの出場資格に変更はありません。

4 次回（第45回）大会の出場枠に関する取扱い

- (1) 拓殖大学は、他の出場チームと同様に、正規の出場チームとして取り扱います。本大会で8位以内に入った場合には、次回大会のシード権を与えます。
- (2) 一方、本措置により、関東地区からの出場チームは、本措置がない場合の10チームから11チームとなります。次回大会の各地区学連出場枠は本大会の成績により配分するため、本措置によって他の地区学連に不利益が生じることのないよう、成績枠（9位～17位のチームの所属する地区学連に配分される出場枠。末尾参照。）について、次のとおり取り扱います。
- ① 本大会で関東地区の11チームすべてが17位以内に入った場合、関東地区のチームの中で順位が11番目となったチームは、拓殖大学であるか否かを問わず、成績枠の算定対象としない。この結果、次回大会における関東地区のシード枠と成績枠の合計は、本措置による出場チーム追加前と同様に、10枠が上限となる。
- ② 上記①により算定対象外となった1枠は、18位のチームが所属する地区学連に配分する。
- ③ 上記①に該当しない場合は、所定の配分方法のとおりとする。

以上

(参考)

【各地区学連出場枠について】

以下の配分方法により、毎年各地区学連からの出場枠を決定する。

1. シード枠(8) 前年度大会で1位～8位に入った大学には、出場シード権を与える。
2. 成績枠(9) 前年度大会で9位～17位のチームの所属する地区学連の数を出場枠として配分する。
3. 基本枠(6) 成績枠で、枠を獲得できなかった地区に1枠ずつ配分する。

残った枠については、5000m6名（当該年度内の電動時計によるタイム）の合計タイムにより出場校を決定する。

（注）その他、大会主催者の認める選抜チームのオープン参加を認める場合がある。

第 44 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会
出場チーム一覧（2026 年 10 月 6 日更新）

ナンバ－	チーム名	地区	備考
1	城西大学	関東	第 43 回大会 上位 8 チーム
2	大東文化大学	関東	
3	名城大学	東海	
4	東北福祉大学	東北	
5	立命館大学	関西	
6	大阪学院大学	関西	
7	筑波大学	関東	
8	福岡大学	九州	
9	北海道大学	北海道	各地区学連代表チーム
1 0	東北大学	東北	
1 1	順天堂大学	関東	
1 2	日本体育大学	関東	
1 3	帝京科学大学	関東	
1 4	白鷗大学	関東	
1 5	東洋大学	関東	
1 6	玉川大学	関東	
1 7	新潟医療福祉大学	北信越	
1 8	日本福祉大学	東海	
1 9	関西大学	関西	
2 0	大阪芸術大学	関西	
2 1	佛教大学	関西	
2 2	環太平洋大学	中国四国	
2 3	九州大学	九州	
2 4	京都産業大学	関西	5000m6 名のチーム記録 による 3 大学（救済措置含む）
2 5	東京農業大学	関東	
2 6	拓殖大学	関東	
2 7	東北学連選抜	—	オープン参加